

2024年度 文化学園大学 留学生入試 2期 試験問題

【問題用紙】

日本語

受験番号					氏名

1 次の文章(雑誌記事)を読み、以下の質問に答えなさい。

近年、物事を効率よく、サイタンキョリ で処理しようという動きが加速している。人間関係も例外ではなく、私の周りには「つきあう友だちはコスパで選ぶ」とあっけらかんと話す 大学生もいる。

たしかに、人づきあいにはお金も時間もかかる。したがって、そこにコストパフォーマンス(費用対効果。以下コスパ)の意識が入るのは、そう意外なことではない。とはいえ、友だちは、コスパ感覚から最も離れた存在だったはずだ。損得抜きにつきあうつながりだからこそ、そこに美しい友情が育まれるのである。この短い論考では、友だち関係さえもコスパでとらえてしまう現代社会の人間関係について考えてゆこう。

私の周りには、「つきあう友だちはコスパで選ぶ」と話す大学生だけでなく、「サークル、バイト、ゼミ、いろいろなバシヨ に所属しているけれど、【 A 】を出せるところはどこにもない」と話す学生もいる。また、別の学生は「友だちとケンカをすると修復する機会がなさそうだからケンカはできない」とカタル。

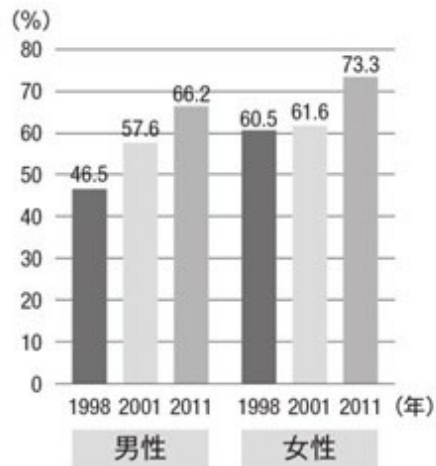
つながりを強制する要素がなくなり、関係から撤退することも含め、自由につながりのあり方を選べるようになれば、自由さを活かして最適な関係を築ける者、他者からの拒絶を恐れて対立の回避に走る者、誰からも選んでももらえず孤立してしまう者が現れるようになる。リア充(注1)、ぼっち(注2)、スクールカースト(注3)など、00年代以降、(ア)人を値踏みする言葉がはやりだしたのも、こうした傾向と無縁ではあるまい。

(中略)

衝突や対立を避ける傾向は、昨今行われた若者の調査に見出すことができる。次の3つの図は第一生命経済研究所、青少年研究会、社会学者の友枝敏雄(友枝編、2015)らのグループがそれぞれ行った調査の結果である。第一生命経済研究所、青少年研究会は、いずれも16歳から29歳の若者を対象とし、友枝らの高校生調査は高校2年生を対象としている。

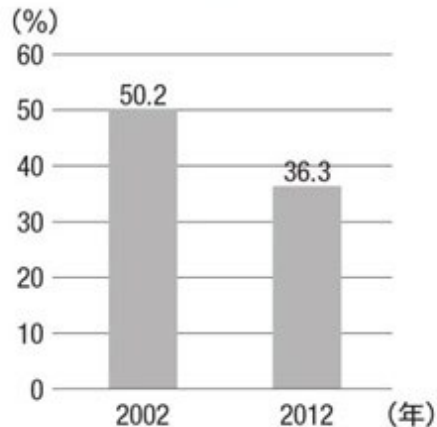
図 若者の友だち関係に関する意識

●多少自分の意見をまげても、友人と争うのは避けたい



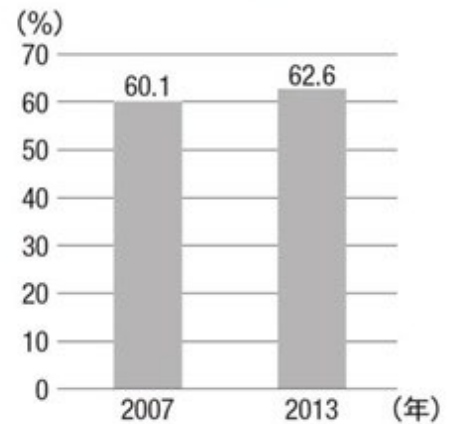
出典：第一生命経済研究所調査

●意見が合わなかったときには納得がいくまで話し合いをする



出典：青少年研究会調査

●友だちと意見が異なっても、態度や表情に表さないようにしている



出典：高校生調査

上の3つの図を見ると、現代社会を生きる若者が（イ）のように動いていることがわかる。「多少自分の意見をまげても、友人とアラソウのは避けたい」という質問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた若者は、1998年、あるいは2001年に比べると、2011年で顕著に増えている。

一方、友だちと「意見が合わなかったときには、納得がいくまで話し合いをする」という質問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた人は、02年の50.2%から12年は36.3%と激減している。「友だちと意見が異なっても、態度や表情に表さないようにしている」人についても、そこまで顕著ではないものの07年から13年にかけてわずかに【B】ている。

これらの調査は、異なった人びとを対象に行われていることと、調査年次がやや古いという点で若干の留保を要するものの、少なからぬ若者が友だちに対して率直な物言いをしづらく、あるいは、しなくなっていることは確かなのだろう。

（中略）

今時の若者にとって、たがいの主張をぶつけ合う行為は、円滑な交流を妨げる「コスト」や関係の【C】につながる「リスク」でしかない。だからこそ彼・彼女らは、対立や衝突の火種を事前に察して、それを回避する作法を身につけているのである。

③

γ

⑦

（中略）

このように見て来ると、私たちは人間関係にまで効率化、リスク低減を求めすぎてしまっている感がある。関係をつくらなければ孤立化してしまうというプレッシャーのなか、私たちはよい交際相手、よい友達を作らなければと腐心してきた。

④

一方では友だちに過剰に期待し、他方では友だちに過剰に配慮する。そうした過程で、人

づきあいにおいても、コスパやリスクを意識するようになった。私自身は、もう少し人間関係に対する価値観の重みを（ウ）良いのではないかと思う。

よくよく考えると、人はそう簡単に孤立した状態にはなれない。一方、ネット経由の出会いも含め、【D】きっかけは至る所にあふれている。

そうであるならば、焦って関係を最適化したり、仲間を作ったりしようとせず、もう少し⑧ゆったりと構えるのがよかろう。

気ままに行動した結果、ノコッタつながりを友だちと呼んでもよいし、呼ばなくてもよい。
e
「友だち」というラベルに振り回されてストレスをためてしまったら、それこそ本末転倒だ。

まず、「誰かと友だちになる」「誰かと友だちであり続ける」という気持ちを脇に置いておく。⑨そうすることで、かえって気持ちよく人とつきあえることもある。それくらいのゆとりがコスパ化された社会では必要なのである。

（石田光規「最適化・リスク回避を目指す人間関係の行く末」『中央公論』2023年1月号、pp.58-65より。一部を加工して使用）

（注1） 「リアルが充実している」の略。ネット上ではなく、実社会において人間関係や趣味活動を楽しんでいること、またはそのような人。

（注2） 「ひとりぼっち」の略。学校に友達のいない人のこと。あるいは、周りは集団で楽しんでいるのに自分だけ一人、という寂しい状況の時にも使われる。

（注3） 学校の中で自然発生する生徒間の序列のこと。クラス内で生徒間の人気の格差を基に上下関係をつくること。いじめの原因にもなっている。

1. 下線 a～b のカタカナを漢字で、下線 c～e のカタカナを漢字とひらがなで書きなさい。

2. 下線 ①～⑨ の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

3. 【A】～【D】に入る最も適切なものを、一つ選びなさい。

A: ア. 本音 イ. 真実 ウ. 本気 エ. 真心

B: ア. 多様化し イ. 増え ウ. 加え エ. 成長し

C: ア. 拡大 イ. 消失 ウ. 蒸発 エ. 最適

D: ア. つながる イ. わかれる ウ. たがえる エ. いぶかしむ

4. (ア)～(ウ)に入る最も適切なものを、1～3からそれぞれ一つ選びなさい。

(ア) 1. 人間関係のコスパにより 2. 関係の多寡により 3. つながりの強制により

(イ) 1. 対立や衝突を避ける 2. 関係から離脱する 3. 納得いくまで話し合いをする

(ウ) 1. 最適化しても 2. 重視しても 3. 切り下げても

5. 下線①～④の意味に最も近いものを、ア～ウからそれぞれ一つ選びなさい。

① あっけらかんと

ア. 気にせず心配もしていない様子で

イ. 真心をこめながら

ウ. すまなさそうに

② 値踏みする

ア. 価値がある存在として、尊ぶ

イ. 優れているか劣っているか、比べたり評価したりする

ウ. 費用や対価を安くしてほしいと頼む

③ 火種

ア. 理想を持ち、情熱にあふれていること

イ. 悪いことが起きるきっかけになりそうなこと

ウ. 成長するための原動力

④ 腐心

ア. 心や道徳が乱れ、行いも悪くなっていること

イ. 取り返しのつかない失敗をしてしまい、ひどく残念がること

ウ. 心を悩まし、なんとかしようと苦労すること

6. 下線α そこは何を指しますか。本文の言葉を使って答えなさい。

7. 下線β 衝突や対立を避ける傾向は、なぜ生まれたと考えられますか。適切なものを、ア～エから一つ選びなさい。

ア. つながりが強制されるようになったから。

イ. 損得抜きにつきあうのが友情であるから。

ウ. 自分の意見を曲げることになるから。

エ. 自由につながりのあり方を選べるようになったから。

8. 下線γ それは何を指しますか。本文の言葉を使って答えなさい。

9. 次の①～⑥の文を読み、本文の内容に合っているものには○、合っていないものには×を、それぞれ解答欄に書きなさい。

① 近年の日本の若者は、友達とケンカをしない傾向がある。

② 美しい友情を忘れて損得のために人間関係を利用するようになったため、現代人は孤立している。

③ 2000年頃と比較して、意見が合わなかったときに納得がいくまで話し合いをする若者が減っている。

④ 孤立化こそ恐れるべきことである。だから、信頼しあえる友人を急いでつくるべきである。

⑤ 昔から、日本社会には、コスパやリスクを意識した人間関係があった。

⑥ 現代日本において、人間関係をつくらなければ孤立化してしまうというプレッシャーの不足が問題である。

2 文法・作文問題

1. 例にならって、空欄に助詞を加えなさい。

例 売店に昼ご飯 買いに行く。

- ① 駅の南側を再開発するため、市役所は自転車置き場 駅の北側に移した。
- ② 新宿駅の14番線ホーム 渋谷行きが来る。
- ③ 誕生日の同級生にお祝いのメッセージ 書く。
- ④ この書類には、黒いボールペン 字を書かなければならない。
- ⑤ 会場に駐車場はありません。電車かバス 来てください。
- ⑥ この食堂 安い、あまりおいしくない。
- ⑦ 駅前の書店 辞書を買った。
- ⑧ 先輩の田中さんは大学院への進学 希望している。

2. 例にならって、空欄に適切なひらがなを記入しなさい。

例 講演会が行 た。

- ① 黒板に字を大 書く。
- ② 激 雨が三日も続いている。
- ③ 私の趣味は音楽を聴く である。
- ④ 地球温暖化対策のための国際会議が開催 た。
- ⑤ 道路を広く 、交通渋滞の問題を解決した。

2024年度 文化学園大学 留学生入試 2期 試験問題

【解答用紙】

日本語

受験番号					氏名

1 1. a () b () c ()

d () e ()

2. ① () ② ()

③ () れる ④ ()

⑤ () す ⑥ ()

⑦ () ⑧ () って

⑨ ()

3. A () B () C () D ()

4. ア () イ () ウ ()

5. ① () ② () ③ () ④ ()

6. ()

7. ()

8. ()

9 . ① () ② ()

③ () ④ ()

⑤ () ⑥ ()

2

1 . ① ② ③

④ ⑤ ⑥

⑦ ⑧

2 . ① ② ③

④ ⑤